

Waseda Vision 150 高等学院・高等学院中学部の将来構想の進捗状況報告

1. 2024 年度報告

(1) 入試関連

－各学部・研究科における入試制度改革の実施状況－

○入試広報活動の徹底

- ・卒業生がほぼ全員早稲田大学に進学する高等学院の優位性をアピールし、一貫教育に相応しい首都圏の優秀な生徒を確保するよう努めた。
- ・学校説明会は例年通り、実施した。

実施日 高校：9月22・23日、10月27日、中学部：6月23日、9月22日、10月27日

- ・各種民間団体が主催する学校説明会や民間メディアの取材にも積極的に応じた。

(2) 教育関連

－グローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み状況－

① ICTを活用した新しい学びの創造

中学部では、1人1台のパーソナルコンピュータ必携化し、高等学校でも今年度の1年生から順次、必携化をすすめる。ICTを活用した教育のデジタル化は今後の教育において重要な課題であり、高等学院でも柔軟で持続可能な教育方法をあらゆる学習機会において確立し、基礎的・応用的な学力を培うと共にその学びの質を保証し、新しい時代にふさわしい学びを創造している。特に、高等学校においてはすべての教科において探究的な学びの実現に向けICTを活用し、全員に対して統計やプログラミングを必修化し、データサイエンス教育を展開している。

② 文理を融合しグローバルな視点をもった多様な学びの空間の確立

社会科学系、自然科学系の授業や総合的な探究の時間等においてSDGsなど文理を融合したグローバルな課題に取り組む探究的な学習を一層推進した。また、第二外国語に関わるフランス、ドイツ、中国、ロシアとの交流やニュージーランドへの長期・短期留学を始めとする国際交流を展開した。そしてこれらの取り組みを通して、グローバルな視点を持った多様な学びの空間を確立した。

③ キャリアデザイン教育の推進

例年通り、各学部の協力を得て学部説明会を実施した。また昨年度から対象を2年生とした学部モデル授業の実施、学院OBなどによる学部説明会などを実施した。学院生が進学後も各学部・各分野で活躍できるよう中高大一貫教育を見据えたキャリアデザイン教育を高大接続課と連携を取りながら推進している。

○将来の学部・学科進学を見据えた基礎学力の養成

高大接続テスト（早稲田大学進学後に学術・研究の途を進むにあたって求められる基本的な知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト）を実施した（11月7日）。

○進学後の可能性を広げる取り組み

- ・OB進路講演会（社会人OB約：20名、2年生対象）5月実施
- ・学部連携・・・モデル講義（各学部、2年生対象）5月実施
- ・日本医科大学への医学部進学指導の充実とキャンパスツアーへの参加

④ 附属連携プロジェクト（WASS）活動の推進（本庄高等学院との協働）

生徒の主体的な活動としてのプロジェクト活動を活性化し、本庄高等学院や系属校との交流を実施した。さらに、早稲田渋谷シンガポール校、高等学院、本庄高等学院とリモートで合同交流会を実施した（7月21日）。

(3) 研究関連

－研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み状況－

① 研究年誌発行（69号）

② 外部研究資金への応募および獲得の推進

高等学院教員の文部科学省科学研究費、民間研究資金、学内研究資金などの獲得を促進に努めた。

今年度実績：科研費（3件）、学内特定課題研究助成費（31件）

③ 教員研修（ファカルティ・ディベロップメント：FD）の充実

「普通救命（心肺蘇生法・AED）講習会」（2025年3月17日実施）

（4）国際関連

－派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み状況等－

① 学術交流協定締結校・機関（現在）

国立政治大学附属高級中学校（台湾）、日仏高等学校ネットワーク・コリブリ（フランス）、孔子課堂（中国）、ゲーテ・インスティテュート（ドイツ）、ハナ高等学校（韓国）、サントペテルブルク国立学校 583（ロシア）、ザビエルカレッジ（オーストラリア・メルボルン）、セントポールカレッジ（オーストラリア・シドニー）、北京大学附属高級中学（中国）、ラインガウギムナジウム（ドイツ）、ロクロア高等学校（フランス・パリ）、エデュケーション・ニュージーランド、パーマストンノース・ボーイズスクール、オークランド・ボーイズスクール（ニュージーランド：新規）

② 派遣留学（長期）

留学一種：6名（USA：4名、カナダ：1名、メキシコ：1名）

留学二種（留学期間を含んで3年間で卒業できる留学制度）：5名（ニュージーランド：2名、カナダ：3名）

③ 派遣留学（短期）：89名（ニュージーランド：29名、コリブリ：2名、バンクーバー：24名、シンガポール：34名）

④ 受入留学：5名（フランス、エストニア、タイ、スイス、フィンランド：各1名）

⑤ 学術協定締結校・機関等による交流（含む：オンライン）

国際交流も新型コロナウイルス感染症拡大以前の取り組みに戻ってきた。

・PASCH パッシュ・ラリー：5月（参加者フランス語選択：1名、ドイツ語選択：14名）

・PASCH 模擬裁判プロジェクト：6月、7月（参加者：5名）

・PASCH AIプロジェクト「AIと共に生きる未来」：8月（参加者：2名）

・PASCH ワークショップ「ピクトグラム絵本『ピクトグラムはかく語りき』～ 移民難民との共生を考える～」：10月（参加者：4名）

・PASCH 青少年ドイツ語研修プログラム「Jugendkurs」：7月28日（日）～8月17日（土）（参加者10名中：2名）

・PASCH ドイツ企業訪問：ポルシェ・エクスペリエンスセンター 11月（参加者：5名）、BOSCH ジャパン 11月（参加者：6名）

・PASCH ドイツ大使館訪問：11月（参加者：11名）

・PASCH の集い：11月（参加者 中学生：6名、高校生：8名）

・PASCH 生徒新聞（2025年3月発行）：記事5つ、記事作成者：3名

・PASCH-net（Goethe-Institut München が運営するドイツ語を学ぶ青少年や教員用のサイト。）：記事3つ、記事作成者2名 ※記事はすべてドイツ語のみ

・CEFR 準拠検定試験合格実績（延べ人数）（2024年3月～2025年2月）

A1 合格：11名、A2 合格：5名、B1 合格：1名、B2 合格：2名 C1 合格：1名

・日仏高等学校ネットワーク・コリブリ短期フランス留学：3月（参加者：2名）

・日仏高等学校ネットワーク・コリブリフランス人高校生受入：10月～3月（2名）

・東京国際フランス学園への訪問：4月（参加者：8名）

・東京国際フランス学園生徒の学院訪問：5月（参加者：8名）、2月（参加者：17名）

- ・高校生親善訪中研修：8月（参加者：5名）、3月（参加者予定者：14名）
- ・台湾政治大学附属高級中学との交流活動：11月（参加者：25名）
- ・ハナ高校国際シンポジウム（韓国・ソウル市）：7月22日～26日（参加者：9名）
- ・ハナ高校短期交換留学：今年度は0名

⑥ その他：国際交流プログラムへの参加

- ・TYCA（東芝国際交流財団 ASEAN 交流プログラム）：11月～3月（参加者：2名）

（5）その他

① 上石神井キャンパス整備の推進（第三期工事）

第一期、第二期工事に引き続き、第三期工事の着工が2024年9月理事会にて決定され、いよいよ上石神井キャンパスの最終形に向けて事業が開始することになった。この工事では、教員室、理科実験教室、家庭科室、美術科教室、食堂、ラーニングコモンズなど高等学院の教育の特色を実現するのに相応しい校舎建設となる。

② 安心・安全なキャンパスづくり

今後に想定される首都圏大規模地震対策などに対し、防災備蓄倉庫を見直し整備した。また、キャンパス内の凍結危険箇所を明示し、安心・安全なキャンパスづくりに心がけた。

③ 新制高等学院創立75周年事業の実施

1949年に新制高等学校として再出発した高等学院は2024年度に75周年を迎えた。記念事業として「75周年記念誌」を刊行した。

以上

2. 2025 年度計画

(1) 入試関連

ー各学部・研究科における入試制度改革の実施計画ー

①世界に羽ばたく人間を創る早稲田の一貫教育の推進(首都圏の優秀な生徒の確保)

卒業生のほぼ全員が早稲田大学へと進学する学院生に対し、三つの教旨を胸に「早稲田スピリット」をもって、中学生は 10 年間、高校生は 7 年間の「早稲田の一貫教育」のなかで自由・平等そして平和な社会に貢献する「すこやかで、しなやかでそしてたくましい」人材を育成する。

②入試広報活動の積極的展開

- ・早稲田の一貫教育に相応しい優秀な生徒を確保する。
- ・高等学院主催の学校説明会の実施だけでなく、民間主催の学校説明会などにも積極的に参加し、メディア等を活用した広報活動を推進する。

③「思考力・判断力・表現力」など総合力を評価する多様な入試の実施

中学部では面接、高等学校では「自己推薦入試」方式の総合的な選抜や「一般入試」での論文入試の実施など、思考力・判断力・表現力を問う問題の出題や総合力を問う入試選抜を実施する。

(2) 教育関連

ーグローバルリーダー育成にむけた、各学術院・学院・学校における取り組み計画ー

①新しい時代へ向けた教養教育の実現

変化の激しい時代に応じた教養教育を施すことで、専門教育を見据えた早稲田の一貫教育に相応しい優れた生徒を育成する。

- ・基礎基本教育の徹底(3R's^{*1})：読む力、書く力、数学力
- ・探究的な学びの推進(4C's^{*2})：批判的思考力、コミュニケーション能力、協働力、創造的問題解決能力

*1)3R's：Writing, Reading, Arithmetic からなる Discipline-Based Learning

*2)4C's：Critical thinking, Communication, Collaboration, Creative problem-solving からなる Interdisciplinary Learning

②ICT を活用した新しい学びの創造

ICT を活用した教育のデジタル化をさらに推進し、柔軟で持続可能な教育方法をあらゆる学習機会において確立し、基礎的・応用的な学力を培うと共にその学びの質を保証し、新しい時代にふさわしい学びを創造する。

- ・中学部：パーソナルコンピュータ必携化のもと、ICT 教育を充実する。
- ・高等学校：パーソナルコンピュータ必携化を実現し、すべての教科において ICT を活用した探究的な学びを推進する。また、全員に対して統計やプログラミングを必修とし、データサイエンス教育を充実させる。

③文理を融合しグローバルな視点をもった多様な学びの空間の確立

すべての教科、とりわけ社会科学系、自然科学系の授業と総合的な探究の時間等において文理を融合したグローバルな課題に取り組む探究的な学習を一層推進する。さまざまな国・地域との国際交流を展開し、部活動、プロジェクト活動など教科外活動を活性化。そして、これらの取り組みを通してグローバルな視点を持った多様な学びの空間を確立する。

④キャリアデザイン教育の推進(学部アドミッションポリシーにかなう中高大一貫教育の推進)

大学入学者選抜を経ない学部進学において、ミスマッチのないキャリアデザイン教育に取り組む。具体的には、2 年生を対象に、学部モデル授業の実施、学院 OB などによる学部説明会などを実施し、各学部の協力を得て学部説明会などの実施を計画している。学院生が進学後も各学部・各分野で活躍できるよう中高大一貫教育を見据えたキャリアデザイン教育を推進する。そして引き続き、高大接続テスト(早稲田大学進学後に学術・研究を進めるにあたって求められる基本的な知識・技能がどの程度身についているか確認するテスト)を改善し充実させる。

- ・OB 進路講演会(社会人 OB 約 20 名、2 年生対象)：5 月実施

- ・モデル講義(各学部)：5月実施
- ・学部生・大学院生と学院生との連携による進路説明会(希望者)：随時実施
- ・日本医科大学への医学部進学指導の充実とキャンパスツアーの実施(希望者)：4月、9月実施

⑤附属連携プロジェクト(WASS)活動の推進(本庄高等学院や他の系属校との協働)

生徒の主体的な活動としてのプロジェクト活動を活性化し、本庄高等学院や系属校との連携を企画・実施する。

例：環境プロジェクト、附属連携プロジェクト、教育プロジェクト、起業・投資プロジェクトなど。

(3) 研究関連

－研究の国際展開のための戦略策定に向けた取り組み計画－

①研究誌(70号)発行と内容の充実

②外部研究資金への応募および獲得の推進

高等学院教員による文部科学省科学研究費、民間研究資金、学内研究資金などの応募を促進する。

③教員研修(FD：ファカルティ・ディベロップメント)の充実

- ・普通救命(心肺蘇生法・AED)講習会
- ・生徒の発達等に関するカウンセリング研修会
- ・コンプライアンスに関する研修会
- ・研究倫理教育に関する研修会

その他、ネットワークを活用したオンデマンド授業環境の整備、教材開発、授業形態の研究を充実させる。

(4) 国際関連

－派遣留学、留学受入促進に向けた環境整備への取り組み計画等－

①学術術交流協定締結校・機関との交流の推進と新規開拓

ゲーテ・インスティテュート PASCH(ドイツ)、
 ラインガウギムナジウム(ドイツ)、
 日仏高等学校ネットワーク・コリブリ(フランス)、
 ロクロア高等学校(フランス・パリ)、
 サントペテルブルク国立学校 583(ロシア)、
 日露青年交流センター (ロシア)
 孔子課堂(中国)、
 北京大学附属高級中学(中国)、
 ハナ高等学校(韓国)、
 国立政治大学附属高級中学校(台湾)
 ザビエルカレッジ(オーストラリア・メルボルン)、
 セントポールカレッジ(オーストラリア・シドニー)、
 エデュケーション・ニュージーランド (ニュージーランド) 、
 パーマストンノース・ボーイズスクール(ニュージーランド)

②派遣留学(長期)

第一種留学(留学期間を含んで4年間で卒業する留学制度)ならびに第二種留学(留学期間を含んで3年間で卒業できる留学制度)を推進する。

③派遣留学(短期)

中学部：セントポールカレッジ研修、高校：ニュージーランド短期留学、カナダ英語研修(夏休み)、ハナ高等学校シンポジウム参加などを実施する。

④受入留学

長期留学生(AFS、YFU など)、短期留学生(コリブリ、ハナ、北京、サントペテルブルクなど)を積極的に受け入れる。

⑤その他(国際交流プログラムへの参加など)

- ・スタンフォード e-ジャパンプログラム(Stanford e-Japan Program)への参加
- ・ICC のスクールビジットへの参加(中学部)

(5) その他

①上石神井キャンパス第三期工事の準備

教員室、理科実験教室、家庭科室、美術家教室、食堂、ラーニングコモンズなどを対象とした第三期工事の準備を早急に進める。第一期工事以来続く高等学院の教育の特色を実現するのに相応しい校舎建設を通して、安心・安全なキャンパスづくりを目指す。

②あらゆる災害から命を守る安心・安全なキャンパスづくり

首都圏大規模地震対策などを推進し、安心・安全なキャンパスづくりに心がける。

③教員の働き方改革の速やかな実行

勤務管理の見直しと勤務管理システムの定着を目指し、教員の働く環境を整備する。

以 上